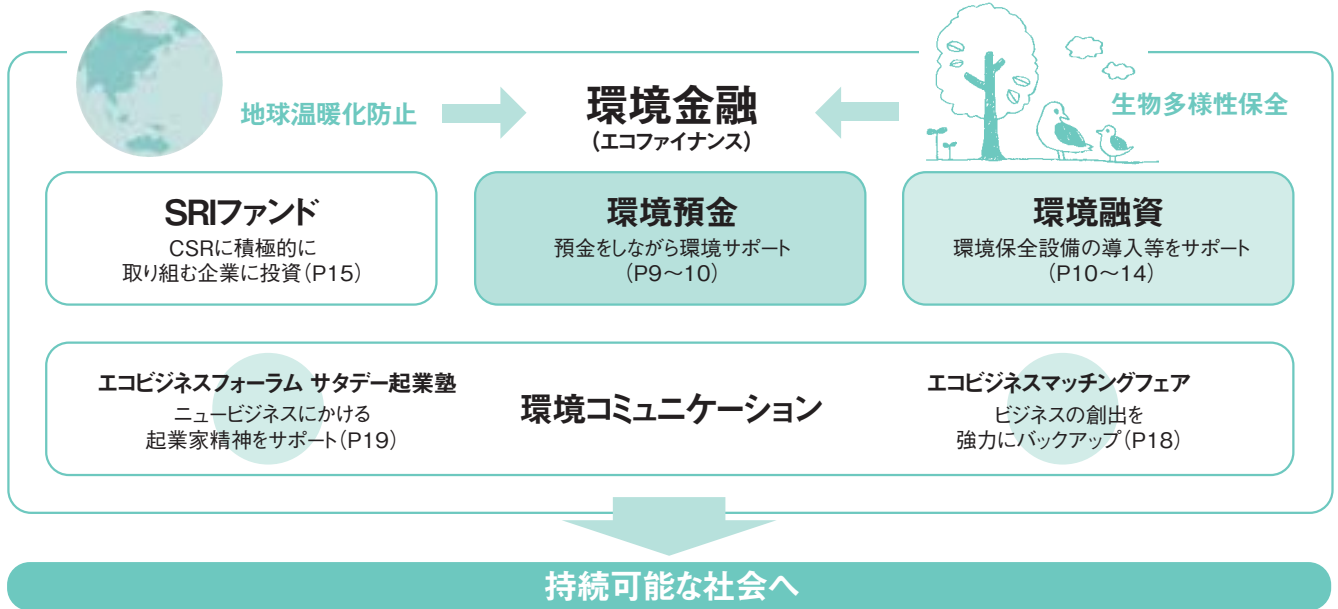


# お金の流れで地球環境を守る

経済の血液である「金融」の役割を通じて、地球温暖化防止をはじめとする持続可能な社会づくりに貢献できる可能性は、ますます拡大しています。

加えて、銀行は公共性の高い業種であり、地域社会に与える影響も少なくありません。

このような金融機関としての使命を真摯に受けとめ、「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、数々の環境対応型金融商品・サービスを開発、提供し、「環境金融」の実践により、地球環境保全に貢献しています。



## 環境コミュニケーション大賞 「環境金融報告特別優秀賞」を受賞

平成22年3月、「第13回 環境コミュニケーション大賞(主催：環境省、財団法人地球・人間環境フォーラム)」において、当行の「CSRレポート2009 未来をみつめて。」が、環境報告書部門「**環境金融報告特別優秀賞**」を受賞しました。これは昨年の「奨励賞」に引き続き2年連続の受賞となります。

審査員講評では、「早い時期から地域特性を反映した環境経営に先進的に取り組み、『**お金の流れで地球環境を守る**』という考え方で**トップコミットメントは明確かつ的確である**。報告書の構成や記述はコンパクトでありながら、行間に金融業としての思いが込められており、とても読みやすい」と評価されました。

## 日本環境経営大賞 「環境経営パール大賞」を受賞

平成22年6月、「第8回日本環境経営大賞(主催：日本環境経営大賞表彰委員会、三重県)」において、「**環境経営パール大賞**(環境経営部門の最優秀賞)」を受賞しました。

当行は第1回(平成15年)においても同賞を受賞。さまざまな環境対応型金融商品・サービスの提供により、金融機関としての役割を通じて地球環境保全に貢献してきたこと、また、**地域と連携しながら「環境金融」を実践している**ことなど、成果の積み上げが極めて顕著なものであるとして、高く評価されました。





## 「学校ビオトープ」で環境学習 エコプラス定期



エコプラス定期は、当行創立70周年を記念して平成15年より取り扱いを開始。お客さまが当行のダイレクトチャネル(ATM、電話、インターネット)を利用して定期預金をしていただくと、**1回のお預け入れごとに7円**(ダイレクトチャネル利用で不要となる定期預金申込用紙代相当額)を当行が負担して積み立て、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただくものです。

平成22年度は3校に各々50万円を寄贈し、平成18年度以来、助成校は累計で16校、総額754万円にのぼります。

### 平成22年度「学校ビオトープ」助成校

大津市立膳所小学校、東近江市立八日市南小学校、竜王町立竜王小学校



平成21年度

## いのちの大切さを学ぶ 「ビオトープ助成校」の活動紹介

「未来を担う子どもたちに、多様な生物との共生空間である『ビオトープ』を通じて、いのちの大切さや生態系の仕組みを学ぶきっかけをつくるお手伝いがしたい」との思いから始まった助成活動。子どもたちは生き物や植物の観察を通して多くのことを学び、「環境学習の実践の場」としてご活用いただいています。

### 近江八幡市立北里小学校

100周年記念事業として日野川の伏流水をくみあげた水車がシンボルのビオトープには、メダカやコイなどさまざまな生き物が生息。休み時間には子どもたちが散策するなど、心の癒しの場となっています。

今回の助成金により、スイレンやハスなど水生植物を約80mの直線型水路に植栽。ビオトープの整備費用として活用されました。

### 東近江市立御園小学校

980㎡の広大なビオトープ施設には、林や池、小川が作られ、さまざまな生物が生息しています。

子どもたちは、ビオトープ内での遊びや学習を通じて、自然に触れる機会が増えており、全学年においてビオトープを活用した環境学習が実施されています。

### 草津市立草津小学校

ビオトープ内には、太陽光発電で動く噴水装置が設置され、地球温暖化防止のシンボルとして、子どもたちが自然エネルギーの活用にも関心が持てるよう工夫されています。また、琵琶湖で採取した魚を放流するとともに、ヨシやマコモ、ガマなどの水生植物を植栽。冬にはビオトープ内で「ヨシ刈り」も実施されました。

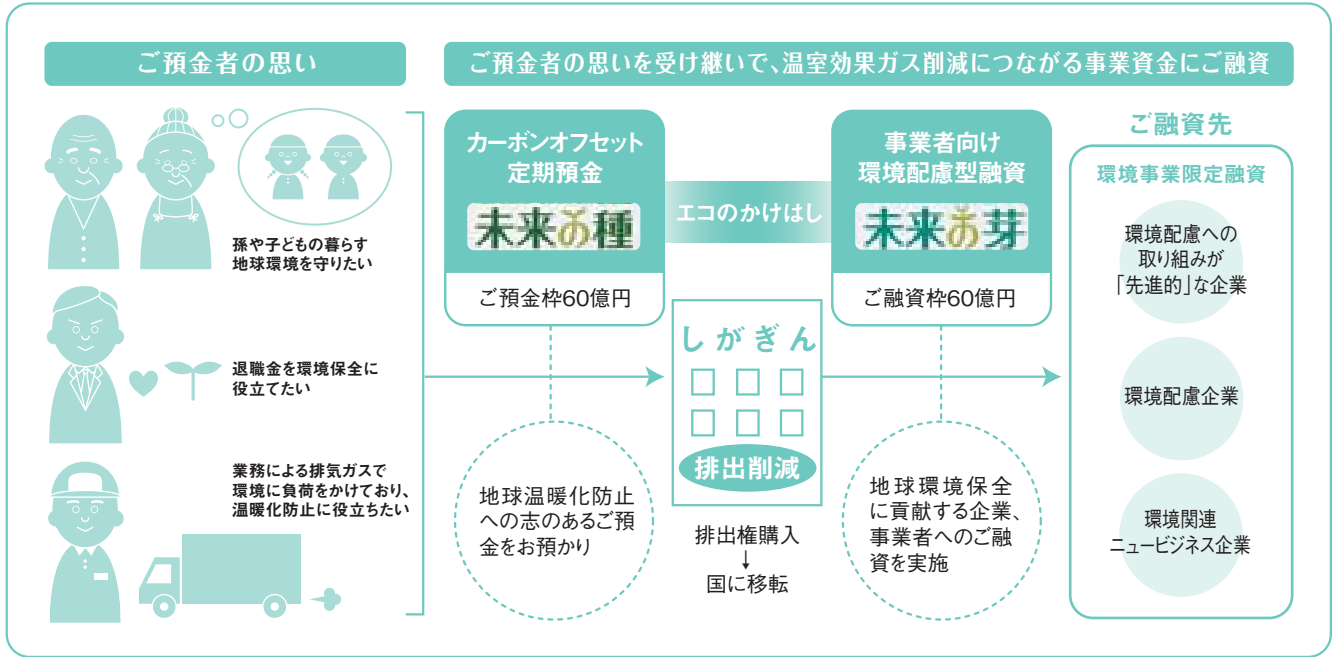
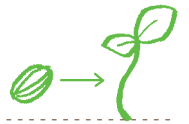
近江八幡市立北里小学校



東近江市立御園小学校



草津市立草津小学校



お客さまからお預け入れいただいた定期預金の金額に応じ、当行が費用を負担して温室効果ガス排出権を購入する「**カーボンオフセット定期預金『未来の種』**」の取り扱いを、平成20年4月、国内の金融機関で初めて開始しました。

また、同年7月には「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による、地球温暖化防止への思いが込められたご預金を、環境配慮に先進的な事業者の皆さまや、温室効果ガス削減への取り組みで必要とされる資金にご融資する「**事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』**」の取り扱いを開始しました。

「温室効果ガス削減への思いが込められたご預金を原資に、温室効果ガス削減に取り組まれようとする事業先へご融資する」、まさに「**お金の流れで地球環境を守る**」という当行独自の「環境金融」です。両商品ともにご好評いただき、ご預金枠・ご融資枠ともに60億円に達したため、取扱いは終了させていただきました。

**ココに注目！**

窓口でのお客さまの反応は、京都議定書の5年間に合わせた預け入れ期間の長さにも戸惑われることもありましたが、地球温暖化防止に込めた当行の思いをご説明すると、ご賛同いただける方も多く、環境意識の高い個人の方を中心に預け入れいただきました。平成21年度も、お預け入れ残高の0.1%分として排出権2,564tを購入し、初年度分から累計で6,564tの排出権を国に無償で譲渡しました。

用語説明

**カーボンオフセット**

地球温暖化対策として、企業や消費者が排出した温室効果ガスの一部を排出権の取得や自然保護活動への協力等で相殺すること。



平成20年度「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞



**Column**

～歴史を振り返る～

**当行初の環境対応型預金商品「しがぎん愛のみずうみ口座」**

当行初の環境対応型預金商品である、「ボランティア預金『しがぎん愛のみずうみ口座』」は、創立60周年(平成5年)の記念事業の一環として、平成4年5月から5ヵ月間取り扱いました。

当時、滋賀県内初の国連組織として「国際環境技術センター」の設置が急がれていました。これは、UNEP(国連環境計画)の下部機関で、琵琶湖で構築された淡水化技術を移転して開発途上国の環境保全活動を支援するものです。

「愛のみずうみ口座」は、お客さまからお預かりした定期預金の利息の一部を同センター設立基金に充当し、当行も同額以上を寄付(マッチングギフト)するというユニークな取り組みで全国の注目も集めました。期間中の申込口数は個人、法人合わせて約1万5千口、預入総額は約69億円にのぼり、当時の環境保全への関心の高さを示しています。利息の一部である510万円と当行のマッチングギフトとして690万円、合わせて1,200万円を贈呈しました。





## 環境+防災意識の共有化と促進 エコ&耐震住宅ローン



「エコ&耐震住宅ローン」は、**環境対応型住宅および耐震住宅の促進**を目的に、同住宅を購入される場合に金利を引き下げるものです(平成17年取扱開始)。

太陽光発電システム導入住宅やエネルギー効率の高い住宅を普及促進することにより温室効果ガスの排出量を削減。また、滋賀県には琵琶湖西岸断層帯が存在しており、耐震住宅の建設を促進することにより、お客さまの生命や、財産を守るためのお役に立ちたいとの願いを込めています。

加えて、省エネルギー住宅や耐震住宅へのリフォームをお考えのお客さまには「セレクトリフォームローン(エコ&耐震)」を通常よりも低い金利で必要な資金をご融資いたします。



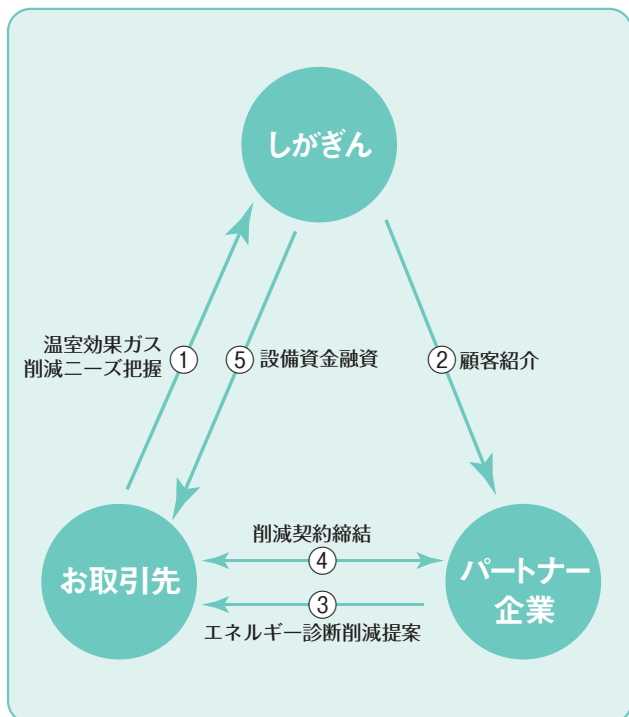
## 地球温暖化防止に向けた 取り組みを支援 温室効果ガス削減支援業務

「**温室効果ガス削減支援業務**」として、ランニングコスト(光熱費)と温室効果ガスの削減につながる取り組みを支援しています(平成21年2月取扱開始)。

具体的には、温室効果ガス排出削減の必要性を認識されたお取引先さまの所有設備やエネルギー使用状況などを当行が把握し、削減ノウハウを有するパートナー企業にご紹介。当行はパートナー企業と共同で具体的な削減手法を提案し、削減に向けた設備投資に必要な資金をサポートします。

本業務により、地域の金融機関として、地域社会の低炭素化に貢献するとともに、省エネ設備への投資を促進して地域経済の活性化を実現していきます。

### 業務の流れ



### TOPICS

### CO<sub>2</sub>の地産地消

政府が主導する「試行排出量取引スキーム」に目標設定参加者として参加しています。

また、同スキームの「国内クレジット制度」に基づく温室効果ガス排出削減事業の共同実施者にも参加し、「地元中小企業向けの環境対策支援サービス」に活かしています。

具体的には、繊維製品製造工場で実施する温室効果ガス排出削減事業の共同実施者となり、排出削減に協力し、将来的に当行が排出権を取得するものです。

地元で発生した排出権を取得することで、**地域経済の活性化と地球規模での温暖化防止**の両方に貢献できる新たな取り組みと考えています。

#### 繊維製品製造工場のボイラーにおける燃料転換



#### 用語説明

##### 国内クレジット制度

大企業が資金や技術を提供して中小企業等が行った温室効果ガス排出抑制の取り組みによる排出削減量を、「国内クレジット認証委員会」が認証し、排出権として利用できる制度。



### 温室効果ガス削減支援業務担当者の声

営業統轄部 保田 高宏



温室効果ガス削減支援の取り組みは、「環境と経済」の両立をめざし、エネルギー消費量(光熱費)削減の可能性があるお客さまと省エネ技術を有する地元を中心としたお取引先さまの「かけはし」になれば、との思いで企画しました。

エネルギー消費量削減は、地域の温室効果ガス削減につながります。日々進歩する省エネ技術を取り込みながら本取り組みを展開し、地域経済の活性化と温暖化防止に貢献できるよう努めてまいります。



## 地球環境保全への願いを込めて



お客さまと手を携え、環境保全に向けた取り組みを一層促進させるため、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則(PLB=Principles for Lake Biwa)」を策定し、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めた、この原則への賛同を広く呼びかけています。

ご賛同いただいたお客さまのうち、ご希望の方には「環境を主軸としたCSR経営に関する資料」に基づき、当行独自の**PLB格付(環境格付)**を実施。環境経営に対する「気づき」のツールとしてご活用いただいております。

### 〈PLB3原則〉

- 1.環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
- 2.環境配慮行動とビジネスチャンスの両立をめざします。
- 3.環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。



## 環境を主軸とするCSR活動をサポート 琵琶湖原則支援資金

「琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」は、環境保全に取り組まれるお取引先の皆さまをサポートする「**エコ・クリーン資金**」(平成22年3月末現在実行累計：707件、86億75百万円)の商品内容を充実・発展させ、PLB格付によるお客さまの取り組み度合いを反映して最大で金利を年0.5%差し引かせていただく商品です。

この「PLB資金」には、地元中堅・中小企業による「**環境経営**」を支援し、地域と連携して「**持続可能な企業と地域社会**」を実現しようとの強い願いを込めています。

平成22年3月末現在、融資累計は785件、163億33百万円となりました。

### ココに注目!

PLBへの賛同先数は、6,894先にのぼり、県内・県外を問わず大きな影響をいただいております(平成22年3月末現在)。

- ①PLBへの賛同 → ②PLB格付を取得 → ③PLB資金によるお借入

### 格付評価項目

ISO14001等の認証取得	グリーン調達・グリーン購入の取組
環境会計導入	コンプライアンスの推進部署の設置状況
土壌汚染、騒音、振動等への取組	環境報告書の発行
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令遵守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	地球温暖化ガス(CO <sub>2</sub> )排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	地球温暖化ガス(CO <sub>2</sub> )排出量削減への取組
省エネ・省資源への取組	リサイクルへの取組

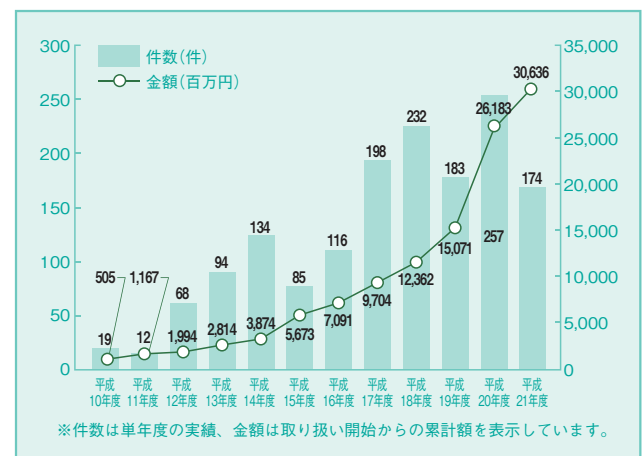
PLB格付	格付評価	金利引き下げ幅
L1	取り組みが先進的	0.5%
L2	取り組みが十分	0.4%
L3	取り組みが普通	0.3%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%

(注)L5に格付された場合はPLB資金をご利用いただけません。

### 〈PLB資金プラン〉



### 〈エコクリーン資金・PLB資金・未来の芽〉実績



NEW

### TOPICS

#### PLB資金(環境省利子補給活用プラン)の取り扱い開始

PLB資金(環境省利子補給活用プラン)の取り扱いを平成21年10月からスタートしました。この商品は、環境省の実施する利子補給制度に則したもので、地球温暖化対策を計画の事業者へのご融資に対し、3年間にわたり国から利子補給(3%上限)を受けることができます。

この事業では、環境省の公募により取り扱い金融機関が選定されており、当行は地方銀行で最初に選定されるとともに、公募にあたって環境省が公表した環境格付基準は、当行の「PLB格付」を参考に策定されています。



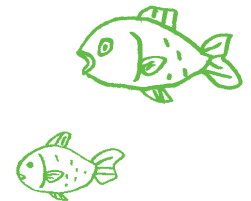
## 新たな環境のキーワード 「生物多様性保全」への挑戦

「**生物多様性格付(PLB格付BD)**」は、お取引先の皆さまが、生物多様性の保全に対して、具体的な行動を促す「道しるべ」となるよう、当行が開発した独自の評価指標です。生物多様性格付を環境格付と別立てとして公表するのは、全国の金融機関で初めての取り組みとなります(平成21年11月運用開始)。

本取り組みは、格付の趣旨である「**豊かな生物多様性の継承と自然共生社会の構築**」に賛同され、格付の取得を希望される方を対象に、8項目の評価指標を用いて、「**生物多様性配慮**」について測定・評価。PLB格付BDで一定以上の評価を取得いただくと、PLB資金の融資金利と合わせ最大で年0.6%の引き下げが可能となります。

### 《生物多様性格付評価指標》

分野	評価指標(概要)
経営方針	1.「生物多様性保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2.推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3.影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
	4.ビジネスの中への組み込み状況
	5.自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
普及啓発・活動の公表	6.専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
	7.社員や取引先に理解を深める機会の設定状況
	8.活動や成果の公表状況



## 生物多様性の保全をめざして

生物多様性の保全が重要であることは理解できても事業活動との関連性を含め、体系的に整理できている企業はまだまだ少ない状況です。本格付を、生物多様性の重要性について意識を高める「気づき」のツールとして、また、企業活動に積極的に環境マネジメントを取り入れるための「きっかけ」として幅広くご利用いただけることを願っています。

用語説明

BD=Biodiversity(生物多様性)

「地球では、さまざまな生きものがつながりあい、支えあって生きており、その「多様性」を指標にして多様な価値を守っていこう」という概念。

### TOPICS 生物多様性全店説明会を開催

「生物多様性格付」の運用開始にあたり、全店説明会を実施しました。各店の担当者が生物多様性保全の重要性を理解した上で、お取引先の皆さまに「企業と生物多様性保全」の取り組みを普及・啓発していくことが本格付の趣旨であるためです。

活動評価の見極めは困難を極めますが、支店担当者、本部、外部専門機関と連携の上、慎重に評価を行っています。



### 生物多様性に関する専門家の声

結・社会デザイン事務所  
代表 菊池 玲奈



「生物多様性」の取り組みが「地球温暖化対策」と大きく異なる点は、それぞれの主体や現場ごとに課題を見極め、個々に応じた対策が要求されることでしょうか。その複雑さは「評価基準」の策定の難しさにも直結します。

「PLB格付BD」は、社会に無難な正解が出るのを待って動くのではなく、常に自らが率先して課題に向き合い、解決への役割を果たしていこうという滋賀銀行らしい真摯な挑戦であり、今後一層の発展を期待しています。



### 「生物多様性格付」企画担当者の声

審査部 澤村 享明



生物多様性(BD)の保全活動を評価する基準は、専門家の間でも確立されていない状況でしたので、格付づくりは困難を極めました。

金融機関にできることには限りがありますが、本格付を「きっかけ」として、お取引先の皆さまが「BDへの配慮なしに企業活動は成立しない」という認識のもと、自社の事業活動とBDの関わりを把握され、保全活動を進めていただけることを願っています。



# ニゴロブナを累計9万匹放流 カーボンニュートラルローン 未来よし



第12回 新エネ大賞  
「新エネルギー財団会長賞」受賞

「カーボンニュートラルローン 未来よし」は、**自然エネルギーの導入促進、琵琶湖の環境と生態系の保全**を目的とするサービスです(平成19年4月取扱開始)。

これは、お客さまが当行の環境対応型融資商品の利用を通じて「**太陽光発電システム**」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に金額換算、**琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護・育成・放流事業に資金を拠出**するものです。

なお、各商品で適用される金利プランからさらに年0.1%の金利を差し引くことで、環境保全に“志”のあるお客さまをサポートしています。

平成19年度から総額530万円を財団法人滋賀県水産振興協会が実施する琵琶湖の生態系保全事業に寄贈しており、これはニゴロブナ12万匹、ワタカ3万匹相当にあたります。



ワタカの稚魚



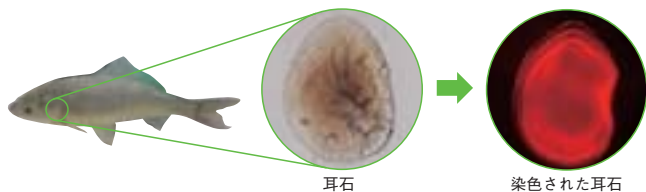
琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ」

**用語説明** **カーボンニュートラル**  
日常生活や事業活動に伴って発生する温室効果ガスを、植林や自然エネルギーの導入などにより実質的にゼロに近づける取り組み。

## ココに注目!

放流する「ニゴロブナ」は、内耳の「耳石」に特殊な色素で染色し、識別できることから、一定期間後にサンプリング(捕獲)して繁殖状況などを調査します。  
ニゴロブナの漁獲量は、平成9年に統計上最少の18tまで落ち込みましたが、平成20年の統計では39tとなり、徐々に漁獲量も増加の兆しがあります。当行のニゴロブナ放流事業も微力ながら寄与しています。

しがぎんが放流したニゴロブナのしるしとして、3重のリングマークをつけています



耳石

染色された耳石

※掲載の耳石の写真は滋賀県水産試験場よりご提供いただきました。

## ニゴロブナ放流式を開催



平成22年1月、草津市の烏丸半島で「**ニゴロブナ放流式**」を開催しました。

この日放流したニゴロブナは、1年間養殖し体長約12cm程度になった未成魚で、役職員ボランティアの「元気に育って」という掛け声のもと、一斉に琵琶湖に放流しました。



「元気に育って」と呼びかけながら、次々にニゴロブナを放流

## 「企業格付制度」は“環境”も視野に

当行では、CSRの側面も加味した、「企業格付制度」を実施しています。

「企業格付制度」では、環境保全に熱心なお取引先の活動を取引評価ならびに信用格付に反映させるため「**環境配慮評価項目**」を設けています。

また、この格付制度を、お取引先の企業価値向上に向けた提案や親身なソリューション活動を充実させるための「コミュニケーションツール」として活用し、「**知恵と親切を提供するビジネス**」を展開してまいります。

## 豊富なSRIファンドラインナップ

環境問題や法令順守、社会的責任への取り組みが高いと評価される企業に投資する投資信託商品、SRI (Socially Responsible Investment：社会的責任投資) ファンドを豊富に取り扱っています。

### SRIファンドラインナップ

投資対象	ファンド名
国内株式	●日興エコファンド
外国株式	●地球温暖化防止関連株ファンド ＜愛称:地球力＞ ●グローバル ウォーター ファンド
その他	●ニッセイ環境先進国債券ファンド ＜愛称:エコインカム＞ ●DIAM高格付インカム・オープンSRI ＜愛称:ハッピークローバーSRI＞

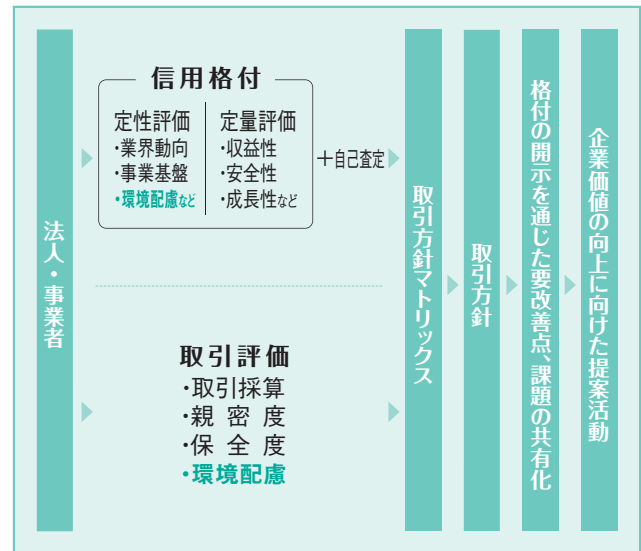
## TOPICS 「UNEP金融機関声明」の精神で活動

国連環境計画 (UNEP) が提唱している「**環境と持続可能な発展に関する金融機関声明**」に市中銀行で初めて署名 (平成13年) しています。

当行では「環境経営」を展開し、「金融機関声明」の精神の実現に努めています。



## 企業格付制度



地球環境との共存共栄

## きれいな土地を未来へ

「土地をきれいなまま子どもたちへ、そして未来へ残そう」との願いから、土壌汚染対策法の施行に伴い、以下の対応を行っています。

### 担保土地に対する対応

#### 新規担保

「汚染可能性が高い土地」に該当する土地は原則として新規の担保として取得しません。

(注1) 「汚染可能性が高い土地」とは、使用中のものを含め、法に定める特定有害物質を取り扱う「特定施設」の敷地を言います。  
(注2) 汚染調査の結果、汚染されていない土地や浄化された土地は担保取得します。また「汚染可能性が高い土地」に該当しても、総合的に判断のうえ取得を検討する場合があります。

#### 既存担保

法の定めにより都道府県知事が作成する指定区域の台帳に記載された土地については、評価額をゼロ円とします。  
(注) 浄化されれば台帳の記載から消去されますので、通常の評価に戻します。

### 大規模な環境被害を引き起こした企業等への対応

大規模な環境被害を引き起こした企業等については、該当先に対して行内の信用格付をランクダウンさせます。

### 担保土地のダイオキシン類に関する対応

ダイオキシン類対策特別措置法の趣旨を踏まえて、担保土地のダイオキシン類に関する対応を平成15年8月から開始しました。土壌汚染対策法への対応に準じたものです。

## TOPICS SRIファンドへの組み入れ

英国の新聞フィナンシャル・タイムズとロンドン証券取引所の合弁会社であるFTSE社の「**FTSE 4 Good Global Index**」の構成銘柄に7年連続で選ばれています。

「FTSE4Good」指数シリーズは、世界で最も注目されているSRI株価指数の1つで、環境・社会・人権など、世界的に認められた「企業の社会的責任基準」を満たした企業により構成されています。

また、投資信託情報などを提供するモーニングスター株式会社が組成・管理する「**モーニングスター社会的責任投資 (SRI) 株価指数**」の構成銘柄にも8年連続で選ばれています。

